

お月さんいくつ (月)

お月さんいくつ
十三七つ

まだ年あ 若いね
あの子を 生んで
この子を 生んで

誰に抱かしよ

お方に抱かしよ

お方どこへ行つた

油買いに茶買いに

油屋の前で すべって

ころんで

油一升こぼした

その油どうした

太郎どんの犬と

次郎どんの犬と

みななめてしまった

その犬どうした

太鼓にはって

鼓にはって

あちら向いちゃ

ドンドコドン

こっち向いちゃ

ドンドコドン
たたきつぶしてしまった

★ 動物の唄

ホーホー虫こい (虫)

ホーホー虫こい

あっちの水は にがいぞ

こっちの水は 甘いぞ

ホーホー虫こい

山路こい

行灯の光で 又こい

雁雁渡れ (雁)

雁 雁 渡れ

大きな雁は 先に

小さな雁は 後に

仲良く渡れ

七草なずな (七草)

七草 なずな

菜切り包丁 まアな板

唐土の鳥が 日本の国へ

渡らぬ先に

合せて バツタバタ

★ 遊び唄

開いた開いた (輪遊び)

開いた開いた

何の花が開いた

蓮華の花が開いた

開いたと思つたら

いつの間にか つぼんだ

つぼんだつぼんだ

何の花がつぼんだ

蓮華の花がつぼんだ

つぼんだと思つたら

いつの間にか 開いた

お礼をおさめに参り

ます

行きはよいよい帰りは

こわい

こわいながらも通りや

んせ 通りやんせ

花いちもんめ

(子とり遊び)

勝つてうれしい 花い

ちもんめ

負けてくやしい花いち

もんめ

向いのだれかさん

一寸おいで

向いのだれかさん

一寸おいで

坊さん坊さん

(鬼遊び)

坊さん坊さん

どこい

くの

わたしは田圃の 稲刈

りに

わたしもいっしょに

連れてって

お前がくると じゃま

になる

このかんかん坊主

くそ坊主

うしろの正面だあれ

かごめかごめ (鬼遊び)

かごめかごめ

ずいずいずころばし (指遊び)

ずいずいずころばし

大学校でなんまいだぶつ

ひとつひーらひら

べいべいことばはおや

めなさい

才蔵つつみをぼんとうつ

美しい花の山

山から小僧が泣いてきた

北と南に海がある

あるへいとうこんべい

とう

豆腐は四角でやわらかい

海軍陸軍 飛行隊

台湾年中あついとこ

床からはい出す朝ねぼう

ぼうやはあんよがお上

手だ

だんだん近づく沖の船

船の上には 七福神

尋常すんだら高等科

課外の読みもの何がよい

よい子の友が日本一

〈参考文献〉

・大月風土記

・花咲山人夜話

・民話の会

執筆者 井上 文次郎

三月号へつづく...

